

宇都宮大学 共同教育学部

受験生・高校生と学部とをつなぐ高大接続メッセージ集

学校好き、集まれ! 第6号

(宇都宮大学は栃木県にある国立大学法人です)

2024年1月発行

●●●目次●●●

* 未来の仲間の高校生へ ……………	1	* 令和7年度入試から選抜方式を一部変更 します ……………	11
* 各分野の仲間からのメッセージ ………	2	* 入試日程情報, 編集後記 ……………	12
* 仲間とともに乗り越えた教員採用試験 …7			

未来の仲間の高校生へ

編集責任者より

今号は「仲間」ということをテーマにして編んでいます。1学年170名という国立大学の教員養成系で見ても小規模なほうになる共同教育学部において、さらに分野ごとや分野横断クラスごとといった少人数集団に属する学生において、仲間関係は無くしてはならないものです。また、実習時や教員採用後に教師の立場になると、子どもたちの仲間関係に思いをめぐらせることも大事になってきます。

オープンキャンパス等で高校生を見ていると、将来共同教育学部で学んでもらえるだろうかと、いろいろな面から考えたりします。その中に仲間と一緒に学んでいけるかどうかという面があります。楽しいことや面白いことに関しては当然仲間づくりするでしょう。大学の中のサークル活動などではそういうことが十分に満たされるはずです。それに加えて、学びにおいての仲間づくりでは、難しいことや苦しいことにおいてもうまく分かち合い、支えあい、良くなることを目指して進めていけるかが大事になります。

学校教員に限ったことではないですが、仕事において同僚性とか協働性といったことが言われます。そこには仕事の大変さということが念頭に置かれています。教員の仕事について様々なことが言われる昨今ですが、

その大変さを低減する鍵として、仲間との間でどのようなやりとりをするかがあるはずです。

互いに指摘し合って高め合い、困難なことも一步一步着実に解決や改善に向けて取り組めていけるような仲間づくり。共同教育学部でそのような関係を作りたいと思う人を心よりお待ちしております。



メッセージ集の企画に応えてくれ、説明会会場に答えを持ってきてくれた高校生の皆様の解答用紙。ありがとうございました。このように関心のアンテナを向けて積極的に行動に移してくれる方が、未来の仲間になってくれることを願っています。

メッセージ集のバックナンバーについては、下の URL または右の QR コードよりご覧ください。



<https://web.edu.utsunomiya-u.ac.jp/message-list/>

各分野の仲間からのメッセージ

共同教育学部は1学年の学生定員が170名。13分野から成るので、1分野の1学年の学生人数はそれほど多くないことがわかんと思います。分野混合クラスも1学年12クラスで編成しているので、やはり同じくらいの規模です。お互いの顔が見える関係、これが共同教育学部の特徴です。ここでは分野ごとに、未来の学校教員志望の高校生に対して、分野の様子が垣間見えるメッセージを送ります。また、出身都道府県の情報も載せておきます。先輩たちに続き、様々な地域から教員を目指す方々をお待ちしています。

教育人間科学系 3 分野

自然科学系 3 分野

人文社会系 3 分野

芸術・生活・健康系 4 分野

教育分野

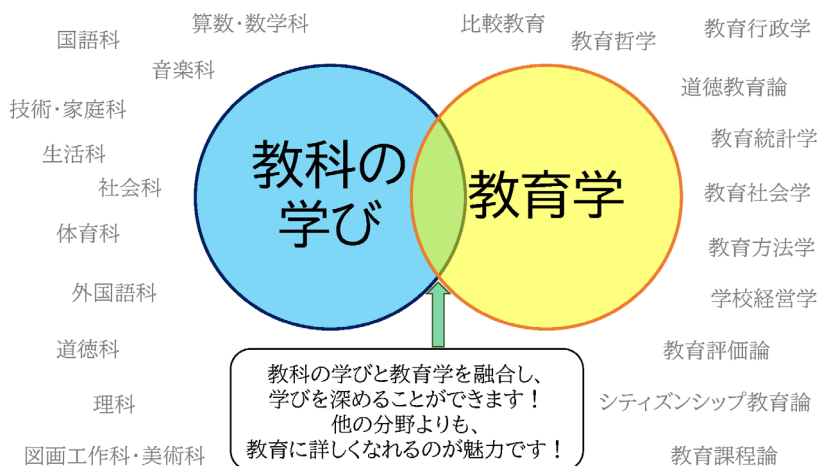
【こういう雰囲気分野です！】

教科と教育の理念とを紐付け、教育の在り方を総合的に学べます。

<現所属学生の出身都道府県>
北海道, 秋田, 山形, 福島, 茨城, 栃木, 群馬, 埼玉, 福井, 島根, 沖縄

<現所属教員の出身都道府県>
茨城, 栃木, 東京, 静岡

「教育」とは何かを見つめ直す



教育心理分野

【こういう雰囲気分野です！】

傾聴・受容の心を持った優しい子の集まりでホッとできる居心地♡

<現所属学生の出身都道府県>
北海道, 宮城, 福島, 茨城, 栃木, 群馬, 千葉, 神奈川, 静岡, 愛媛 等

<現所属教員の出身都道府県>
栃木, 千葉, 福岡, 鹿児島

教科の分野とは少し違う教育心理分野の魅力☆

教科の免許を入学後に慎重に決められます。教育心理学を学びながら免許も取れます！私は小学校+中学校社会・特別支援(③領域)の免許が取れたよ！

教育心理学の学びは「子どもたち」「自分」にどう生きる？

いじめや不登校の対応を含め、【“子どもたち”が過ごしやすい学級づくり】に役立つよ！また、“子どもの心理”を考える習慣が身につくと、次第に“自分を深く見つめ考えること”も大切にできるようになり、4年間を通して【“自分の”マインドをコントロールする力】が得られたと感じています！

こんな人におすすめの分野！

子どもの気持ちに寄り添った教員になりたい人、
また子どもだけでなく同僚や保護者の方と良い関係を築くために
必要なことを学びたい人におすすめの分野です☆

☆ぜひお待ちしております☆

特別支援教育分野

【こういう雰囲気分野です！】
 学生も先生方も真面目で優しく、アットホームな雰囲気です!!

<現所属学生の出身都道府県>
 北海道, 岩手, 山形, 宮城, 福島, 茨城, 栃木, 埼玉, 富山, 山梨, 大阪, 中華人民共和国

<現所属教員の出身都道府県>
 秋田, 宮城, 栃木, 東京, 大分

Welcome

5領域全部の免許を取得できる数少ない日本の大学の一つです。特別支援学校の教員になった時に活躍の場が広がります!!



私たちと一緒に学びましょう!

国語分野

【こういう雰囲気分野です！】
 合理的な人も、徹底的に突き詰める人も、「面白い」に出逢える!

<現所属学生の出身都道府県>
 宮城, 秋田, 山形, 福島, 茨城, 栃木, 群馬, 埼玉, 神奈川, 新潟, 長野, 愛知, 滋賀, 兵庫

<現所属教員の出身都道府県>
 北海道, 愛知, 岡山, 香川

国語分野も魅力的です!

~印象に残っている授業について、学生に聞きました~

「過去の日本語や文法の歴史を調べ、発表し合った授業が面白くて、日本語学に興味をもちました!」

「読み手を楽しませる工夫と説得力、その両方を意識した文章を実際書き、作文指導の方法を学んだ授業が新鮮でした!」

日本語学 移り変わっていく言葉の歴史を遡ってみると、現代語に対する疑問が生まれ、古語や古典文法への見方も変わります。

国語教育 既存の知識と大学の授業で学んだことをつなげて、「国語を教えること」について考え、議論し、実践します。

「文学史を深堀りした授業は初めてで、日本史と関連付けて流れを理解できたとき、文学史って面白いと思いました!」

日本文学 知っている古典作品も、有名な文豪の作品も、視点を変えて見てみると世界がぐんと広がり、これまで知り得なかった新たな魅力を発見できます。

国語分野は、学ぶ意欲のある人が変わる場所。そして、教員を目指す仲間とともに、学ぶ面白さを探究できる場所でもあります。まずは視野を広く、徐々に深く、自分なりの「面白い」を見つけましょう!

社会分野

【こういう雰囲気分野です！】
 専門性の高い教員の下、社会科に関わる興味を広げる分野です。

<現所属学生の出身都道府県>
 福島, 茨城, 栃木, 群馬, 埼玉, 新潟, 福井, 香川 等

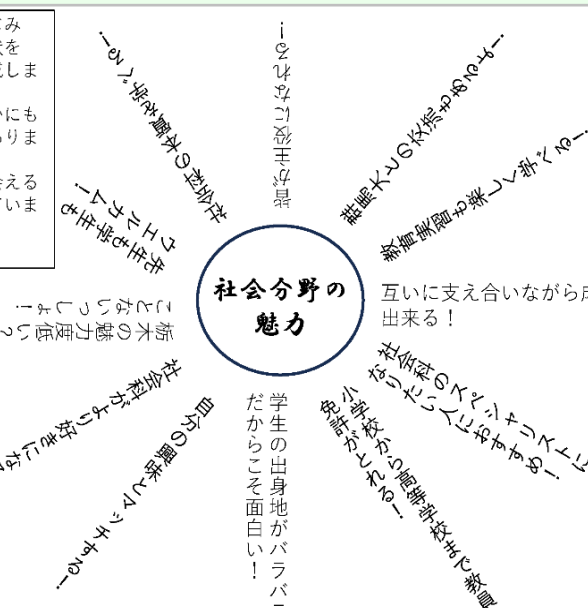
<現所属教員の出身都道府県>
 秋田, 埼玉, 千葉, 神奈川, 三重, 大阪, 山口, 福岡

日本史ではおなじみ(?)の傘連判状をイメージして作成しました。もちろんこのほかにも魅力はたくさんあります! 皆さんに大学で会えるのを心待ちにしています!
 By 社会分野一同

社会分野の魅力

互いに支え合いながら成長出来る!

学生の出身地がバラバラだからこそ面白い!



英語分野

【こういう雰囲気分野です！】
いつも仲が良く、話し合いを活発に行い、楽しく学んでいます！

<現所属学生の出身都道府県>
北海道, 青森, 岩手, 山形, 茨城, 栃木, 群馬, 静岡, 福岡, 鹿児島

<現所属教員の出身都道府県>
山形, 栃木, 東京, 神奈川



数学分野

【こういう雰囲気分野です！】
一人ひとりの努力 × 数学同志の支え合い = ∞

<現所属学生の出身都道府県>
秋田, 福島, 茨城, 栃木, 埼玉, 東京, 長野 等

<現所属教員の出身都道府県>
栃木, 群馬, 埼玉, 千葉, 東京

数学分野って??

高校生皆さん、こんにちは。数学分野では、教員になるにあたって必要な資質や能力を身に付ける学びをたくさんすることができます！将来学校の先生になりたいと思い、数学分野を志望する皆さんにとって有益な情報を紹介させていただきたいと思います！

数学分野には、教員を目指す皆さんに欠かせない**教科指導の方法**や、**専門的な数学**を学べる授業がたくさんそろっています。教科指導法では、数学の授業における目標を達成するために、「どんな活動を授業の中で取り入れるとよいか」「教師はどんな視点をもって授業をしたらよいか」等の授業を行う上で不可欠なスキルを身に付けることができます。これは中学校のみならず、小学校の先生を目指す皆さんにもとても役に立ち、算数でも子どもが将来学ぶ数学の授業を見据えた指導を行うヒントに必ずなるはずです。また解析学や代数学などの専門的な数学を学ぶことで、これまで証明できなかったことを、根拠をもって理解することができるようになります。例えば、「球の体積」の公式は中学校で学びますが、その導き方は大学で専門的に勉強することで理解できるようになります。これも数学の先生として知っているべき深い数学の原理で、そのような専門性を持った上で教えられる先生を数学分野で目指しましょう。

また数学分野では、様々な人同士で関わり合いながら、**互いに高め合える環境**が整っています。同級生同士では、教育実習や模擬授業等の機会を通して互いのもつアイデアを共有し合い、よりよい数学の授業を追究したり、改善できることはフォローアップし合ったりして、関わる皆が向上できる雰囲気が分野全体に出来上がっています。この雰囲気は、**教員採用試験の勉強の壁に共に助け合い、切磋琢磨し合って乗り越える上でもとても役立つもの**となるでしょう。もちろん先生方にも親身になってサポートしていただくことができ、自分のためになるアドバイスをたくさんいただけます。例えば4年生の卒業実習において、数学分野のゼミは5人程度の少人数で行われるため、「専門の数学」や「数学教育」に関する研究を行う上でも、その専門的知見からの助言を、専門の先生から素早くかつ的確にいただけます。そのため、研究も密度のとても濃いものとなって、そこから得られることは学校の先生としてきつと役に立つと思います。また共同教育学部として、群馬大学の学生とも共に学ぶ機会も多く、両大学の学生の持ち味が混ざり合って、楽しだけでなく数学の教員として必要な広い視野をもって学べることも魅力です。先輩方も、このような環境で高め合いながら、よりよい学校の先生に慣れるよう努力をしています。

皆さんぜひ、数学分野で日々多くの体験を通して素晴らしい先生を目指しませんか！

理科分野

【こういう雰囲気分野です！】
私たちは貴ガスのように安定で、自分の色に光り輝いています！

<現所属学生の出身都道府県>
福島, 茨城, 栃木, 埼玉, 静岡

<現所属教員の出身都道府県>
茨城, 千葉, 東京, 神奈川, 兵庫, 愛媛

～瀧本研(地学)～
宇都宮大学の理科分野では、理科の授業をするうえで必要な実験技術や話術、授業の進め方などを磨きます。地学研究室では、校外への出張授業や授業実践のための検討会をしたり、校外に出て、地層や特徴的な地形などの実物が見られる場所を訪れながら地学に関する学習をしたりしています。とても充実した大学生活が待っていますので、大学受験、頑張ってください！

～南研(物理・化学)～
南研究室は化学・物理の研究室で、日々の活動としては化学や物理の内容を専門的に深めたり、物理教育・化学教育に関する論文をみんなで読んだりしています。卒論では、物理の力学における誤って理解しやすい内容(誤概念)をどのような教材を用いたら修正できるかについて研究したりしています。理科分野では、高校では暗記していた内容がどうしてそうなのなのかという本質的な部分まで学ぶこともできます。

～夏目研(生物物理学)～
3年生から配属される研究室ですが、私が所属している夏目研究室では、生物物理と言われる分野の研究を行っています。高校以前では触れることのない分野に関する勉強を専門的に行うので、毎日が勉強でたくさんの学びがあります。また、他の物理系の研究室と共同で講義をうける機会もあり、いろいろな分野や視点から理科に関する理解を深めることができます。理科が好きなお待ちしています！

～井口研(生物学)～
理科分野では、理科をなぜ学ぶのかという本質に深く触れたり、理科の面白さをどう伝えるかの技術・方法を学ぶことができます！また、生物研究室では①生物の実験を学校現場で実際に実施・指導ができること②生物学的知識を深めることの2つを学びの軸として日々、勉学に取り組んでいます。私たちは理科分野を受験する皆さんをお待ちしています！
b^_ ^d <g> ざ!!

～出口・人見研(理科教育学)～
理科分野では、物化生地、理科教育について専門的に学ぶことができます。実験を行う授業もあり、理科の各分野の知識はもちろん実験の指導の知識も身に付けることができます。理科教育研究室では、理科の授業の内容を分析したり構成の仕方を学んだり、実際に自分で授業を考えたりますことで、学校現場を意識した学びを得ることができます。また、先生方は優しく面白い人ばかりで、丁寧に指導してくださるので楽しく充実した学びを得ることができる場所になっています。

宇都宮大学理科分野 各研究室からのコメント

Utsunomiya University Science

技術分野

【こういう雰囲気分野です！】
少人数なので、学年関係なく仲のいいアットホームな分野です。

<現所属学生の出身都道府県>
福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、東京

<現所属教員の出身都道府県>
群馬、埼玉

技術分野

1学年4~6人と、とても少人数で構成されている分野なので、学年の仲はもちろん、学年を超えた仲も良くアットホームな雰囲気なのが、技術分野の特徴です。
先生や先輩方に学校生活や、授業の悩みを聞きやすいです。

技術分野では、プログラミングや、木材加工、金属加工、機械工学など、1からデザインや構想を考え作品を作成することで、創造力を養うことができたり、生物育成学から生命の尊さを感じることができたりします。どちらも、教科書で学ぶだけでなく、実際に自分の手でやってみるという経験をすることができます。
教員になった際に、自分の実体験を子どもたちに話し、実際に子どもたちにも、1からものを作る楽しさや、生命の尊さを肌で感じてもらえるような授業をすることができます。



音楽分野

【こういう雰囲気分野です！】
いつもノリノリ!とにかく楽しい!
笑いが絶えない!

<現所属学生の出身都道府県>
岩手、宮城、秋田、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、東京、神奈川、三重

<現所属教員の出身都道府県>
栃木、石川、長野、兵庫



私たちは座学だけでなく、音楽活動を通して音楽教育を学んでいます。音楽好き同士、切磋琢磨しながら楽しく過ごしています。興味のある方はぜひ、音楽分野に来てください♪

美術分野

【こういう雰囲気分野です！】
幅広く美術を追求したい方に ~共同教育学部美術分野~

<現所属学生の出身都道府県>
北海道、茨城、栃木、埼玉、山梨、静岡

<現所属教員の出身都道府県>
埼玉、東京、石川

美術分野3年Yさん
私は分野A.B.C.Dを履修しました。専門的な知識は勿論のこと、なかなか触れることができない畑などの専門的な知識や者につけることができました。また、現場に出ても役立つとして設定しやすいうような小作品制作も行いました。
予備校入学の準備の過程では知識がなかなか補強できず大変苦労しましたが、先生が優しく丁寧に教えてくれたので授業に夢中になり楽しく授業です。

美術分野3年Hさん
分野A.B.C.Dは、色鉛筆・水彩画、文字の表現、映像・デザインなどの基礎的な学習をはじめ、3Dモデリングや立休デザイン、空間デザインの学習を主に実践形式で取り組むことができます。実践課題の内部はグラフィックやイラスト、建築など多岐に渡り、美術教員を目指す人にとって必要なデザインに関する知識を深め、技術を習得することに繋がっています。

美術分野4年Oさん、Aさん
分野A、Bの授業では、基礎的な技術を学ぶことが目的で身につけられます。専門的な知識を深めることで、芸術的自由な表現や、より効果的に伝えられるようになり、実践的な表現に繋がります。
分野Cでは、授業の進捗について専攻することによって、学びの進捗を自分自身でコントロールすることができ、興味のある分野で、得意な分野を伸ばすことが出来ます。これらの体験を通して、教員としての準備が整えられるようになると期待しています。

美術分野4年Sさん
分野Aは、色鉛筆・水彩画、文字の表現、映像・デザインなどの基礎的な学習をはじめ、3Dモデリングや立休デザイン、空間デザインの学習を主に実践形式で取り組むことができます。実践課題の内部はグラフィックやイラスト、建築など多岐に渡り、美術教員を目指す人にとって必要なデザインに関する知識を深め、技術を習得することに繋がっています。

美術分野4年Mさん
分野Aは、色鉛筆・水彩画、文字の表現、映像・デザインなどの基礎的な学習をはじめ、3Dモデリングや立休デザイン、空間デザインの学習を主に実践形式で取り組むことができます。実践課題の内部はグラフィックやイラスト、建築など多岐に渡り、美術教員を目指す人にとって必要なデザインに関する知識を深め、技術を習得することに繋がっています。

保健体育分野

【こういう雰囲気分野です！】
学年を超えた繋がりがあり、同じ目標に向かって互いに高め合える。

<現所属学生の出身都道府県>
栃木20人,茨城10人,群馬6人,埼玉4人,山形3人,秋田・福島・長野・静岡・愛知2人,北海道・青森・東京・神奈川・沖縄1人

<現所属教員の出身都道府県>
東京2人,富山・福井・愛知1人

在学生(3年生)からのメッセージ

私は教師になりたいという思いが強くなり、宇都宮大学共同教育学部に入学しました。入学したばかりの頃は、教師という仕事に対して明確なイメージを持つことができませんでした。しかし、2年生で行われる教職ボランティア入門、3年生で行われる教育実習などの実践的な学習を通して、子どもたちと関わったり、実際に自分で考えた授業を実践してみたりする中で、自分のなりたい教師像が明確になり、教師になりたいという思いがより一層強くなりました。大学の授業でも教職ボランティア入門や教育実習での学びを活かして、具体的なイメージを持ちながら授業に取り組むことができ、より深い学びをすることができるようになったと思います。

分野の授業では、バスケットボールや器械運動などの実技だけでなく、体育や保健の指導方法を学んだり、運動学やスポーツ心理学、生理学などスポーツに関する専門的な知識を学んだりする授業があります。また、3年生からはゼミ活動が始まり、体育科教育学、保健領域、スポーツ心理学など自分の興味のある分野について専門の先生の下で研究をします。私は体育科教育学のゼミに所属し、教育に関する本を読み進めて議論をしたり、教育新聞から興味を持った記事を紹介し、議論をしたりしています。また、実技研究会に参加し現職の先生方と一緒に勉強をしたり、夏休みには合同ゼミ合宿を行い、他大学の学生や先生方と交流をしながら学習をしたりしています。

保健体育分野には教師という同じ目標に向かって切磋琢磨する仲間、サポートしてくれる先生方がたくさんいます。部活動に積極的に参加する学生も多く、活気にあふれています。また、学生が運動会を企画するなど授業以外にも学年を超えた繋がりが持てることができます。ぜひ、宇都宮大学共同教育学部保健体育分野に入学して、私たちと一緒に充実した大学生活を送りましょう。



家政分野

【こういう雰囲気分野です！】
学生も先生方も暖かい雰囲気で、安心して大学生生活を送れます。

<現所属学生の出身都道府県>
青森,岩手,宮城,山形,茨城,栃木,新潟,長野,鳥取等

<現所属教員の出身都道府県>
東京,兵庫,宮崎

かていか

- ・家庭科の魅力を再発見できる！
- ・小中高等学校の免許を取得できる！
- ・少数だからこそ、みんなと仲良くなれる！
- ・教員採用試験に必要な能力を製作や調理実習で楽しみながら身に付けることができる！
- ・衣生活、食生活、人権教育など専門性の高い先生方から講義を受けることができる！
- ・様々な地域から来た教員志望の仲間と切磋琢磨し合うことができる！



学部卒業後にさらに教職の学びを深めたい方には「教職大学院」があります

宇都宮大学には教職大学院（正式名称は「大学院教育学研究科教育実践高度化専攻」）があり、大学卒業後にそのまま教職大学院で学び、専修免許を取得する学部学生もいます。

学部時代に栃木県教員採用試験に合格したら、教職大学院修了まで有効となります。

<https://sites.google.com/uu-pt.net/koudoka/>



仲間とともに乗り越えた教員採用試験

教員採用試験では1次試験から2次試験にかけて多様な内容や形式の問題が課されます。一定の期間それに対する準備をするときに、学部が支援する学習の機会を利用することは言うまでもありませんが、それ以外に各自で継続的に学び続けていく必要があります。その際に、同じ方向を目指す仲間が集まり、ともに励まし合いながら互いに刺激して進めることも大事だと感じます。そのような仲間づくりに役立つ様々なつながりの種が共同教育学部の日々の学びや生活の中にはあります。ここでは今年度の教員採用試験に合格した4年生に、採用試験対策での仲間との学びを語っていただきました。

様々な仲間とのつながりを通して

教育分野4年、作新学院高等学校出身（栃木）

＜小学校教員に合格＞

こんにちは。この記事を読んでくださっている皆さん、定期テストや模試、受験勉強など忙しい日々を過ごされていることと思います。本当に毎日お疲れ様です。そんなみなさんは、「仲間」と聞いてどんな存在を思い浮かべるでしょうか。今隣にいる人のこと、疲れた時に励まし合うあの人のこと……。ここからは私が教員採用試験を共に乗り越えた「仲間」について少しだけ話をいたします。

二次試験に向けた対策で特に、「仲間」の存在の大きさを感じました。二次試験で実施される集団討論や面接は、一次試験の筆記試験とは異なり、人対人の試験となるため、やはり自分1人では対策しきれない部分がありました。例えば集団討論では、毎日決まった時間に参加者が集まり、ランダムに決まったグループで練習をしました。毎回異なる人と練習をすることで、「この人の話の進め方はすごく勉強になるな」「そんな考え方があったのか！1人じゃ思いつかなかったな」など、自分にとって本当に刺激となる時間でした。練習後は同じ分野の仲間と集まり、それぞれのグループの情報を共有したりもしました。

宇都宮大学の学生のみならず、教育心理分野の方が中心となって開催してくれた、他大学との合同練習にも積極的に参加しました。栃木県外の大学からもメンバーが集まっており、それぞれの大学の試験対策の方法を共有したり、様々な試験パターンを想定して練習したりすることができました。

仲間と会えない期間は、オンラインでできることを探して対策しました。二次試験では小論文も実施されるため、分野の仲間と連絡を取り合い、お互いの小論文を添削し合いました。見えない間も仲間が頑張っていると思うと、自然と机に向かうことができました。

気持ちが後ろ向きになった時、何度も手を差し伸べてくれた同じ分野・他分野の「仲間」や先生方には感謝してもしきれません。そして「仲間」の輪をどんどん広げ、教員を目指す者同士みんなで頑張ろうといった気持ちは、試験を乗り越えるために欠かせないものだったと今でも思います。1人で解決しない問題も、誰かと解いたら案外単純なものかもしれません。みなさんがこの宇都宮大学で素敵な仲間と出会えることを心から願っております。



仲間と添削し合った小論文の練習のプリントです。上手く書くというのは難しいですが、このように仲間からの指摘が書き方を客観視するきっかけとなり、書く自信にもつながっていきました。

志を同じくする仲間との充実した日々

社会分野4年，巻高等学校出身（新潟）

＜小学校教員に合格＞

私は教員採用試験に合格し、幼少期の頃から抱いていた「先生になる」という夢を叶えました。採用試験を終えた今、共に採用試験を受験した同じ分野の仲間がいなければ、夢を叶えることができなかつたと感じています。仲間と学び合った日々を振り返り、皆さんに紹介していこうと思います。

まず、一次試験の対策では、互いに問題を出し合ったり、分からないところを教え合ったりしました。一次試験では、教育に関する知識や中学校で学ぶ教科の知識を持っているか測る試験が行われました。一人で黙々と勉強しても可能なものではあるでしょう。しかし、仲間と問題を出し合ったり教え合ったりすることで、一人で学ぶのとは異なる新たな知識を獲得の仕方や深め方をすることができました。

二次試験では、集団討論や面接、小論文の試験がおこなわれました。二次試験の勉強では、今まで接点のなかった人とも集団討論や面接の練習をしました。私は決して社交的な性格ではないため、練習をする際はとても緊張しました。ただ、同じ志を持った者同士、練習が始まると良いところは褒め合い、改善できる所を教え合うことができました。二次試験では、見知らぬ他者からどう見られるかを理解することがとても大切です。自分だけで自分がどう見られているか考えることはとても難しかったので、新たな仲間に見てもらふことは十分な練習になりました。勇気を出して練習に参加し、仲間と共に対策したおかげで、自信をもって二次試験に挑むことができました。

仲間の存在は、勉強以外の面でも私に良い影響を与えてくれました。勉強の合間にたわいもないことを話したり、一緒にご飯を食べに行ったりし、いい息抜きをすることができました。採用試験の勉強をすることはもちろん大切ですが、ずっと勉強しては気疲れしてしまいます。息抜きをする際にも仲間の存在が大きかったです。

もちろん、一人でしっかり勉強することも必要です。しかし、一人で勉強し続けるのには限界があります。私も一人でも勉強できると思っていたのですが、そうで

はありませんでした。振り返ると、仲間と過ごす時間はとても有意義で、とても楽しい時間でした。共同教育学部では、同じ志を持った仲間に出会うことができました。みなさんが宇都宮大学に合格し、素敵な仲間に出会い、共に学べるようになるよう祈っています。



分野のメンバーそれぞれがお菓子を買ってきてきたお菓子箱です。試験勉強の合間に皆で楽しく食べたこともほどよい息抜きとなり、よい思い出となりました。

仲間との程良い刺激と程良いリラックス

特別支援教育分野4年，宇都宮北高等学校出身（栃木）

＜小学校教員の特別支援学級卒に合格＞

目標に向かって取り組んでいる際、しばしば孤独を感じることはあるのではないのでしょうか。私はこの教員採用試験での経験を通して、同じ目標に向かう「仲間」とともに取り組むことに大きな意味を感じました。

私は、試験の本番が近づくとつれて孤独や焦り、緊張など不安な気持ちでいっぱいでした。そのような時、私の支えとなってくれたのは、やはり「仲間」の存在です。教え合いや不安な気持ちの共有ももちろんですが、何気ないおしゃべりをした時間が私にとって大きな救いでした。ピリピリとした気持ちが長く続いている中ではリラックス効果が大きく、こうした癒しの時間があつたからこそ、その後の勉強にも気持ちを切り替えて取り組んでいたのだと思います。

友人らだけでなく、他の多くの仲間の存在も大きなものでした。大学の就職支援室が主催する面接・集団討論練習に可能な限り参加したことで、自分と同じ目標に向かって取り組む仲間の存在を身近に感じ、一緒に練習する中で見つけた他の人の良い点を自分にも取

スクラムを組んで大きな壁に立ち向かう

社会分野4年、宇都宮東高等学校出身（栃木）

＜小学校教員に合格＞

り入れてみたり、「みんなも努力しているのだから！」と自身の士気を高めたりすることにもつながり、「仲間」とともに取り組むことによって受ける刺激の多さとその良さを実感しました。

自分と同じく特別支援系の試験を受ける仲間とは時間を合わせて集まり、特別支援教育に特化したテーマで集団討論の練習をすることもありました。そのほか、お盆休み中にも他分野の学生がZoomを使用して他大学の学生も含めた集団討論の練習会を企画してくださり、互いに傾向を知れたり情報共有をしたりできるといふ点でも貴重な仲間との出会いにつながりました。

このように教員採用試験での経験を改めて振り返ってみると、身近に感じていた友人らや同じ分野の仲間たちだけではなく、多くの「仲間」に支えられて乗り越えてきたことを実感しました。「受験は団体戦」という言葉があるように、仲間と支え励まし合い、切磋琢磨し合いながら目標に向かうという経験が、自分自身にとっての励み、本番での自分への自信や安心感にもつながると思います。

大学に入学するとたくさんの新しい素敵な「仲間」との出会いが待っているでしょう。皆さんの合格を応援しております。私の経験が少しでも皆さんの参考になれば幸いです。

月	火	水	木	金	土	日
31	1	2	3	4	5	6
	特支集団討					
	集団討論	個人面接		個人面接		
	集団討論	集団討論		集団討論		
				集団討論		
7	8	9	10	11	12	13
	個人面接		特支集団討	山の日	集団討論	
	集団討論	個人面接	個人面接		集団討論	
	集団討論	個人面接	個人面接			
	集団討論	集団討論	集団討論			
14	15	16	17	18	19	20
集団討論	集団討論	集団討論			令和6年度栃木県教員採	
集団討論	集団討論	集団討論	個人面接	特支集団討		
			個人面接	個人面接		
			特支集団討	集団討論		

8月のスケジュール（上）。ほぼ毎日、仲間と一緒に対策をしていました。対策に使った様々な参考書（下）。一人ではくじけそうなきも、仲間とペースを作って取り組んでいけました。

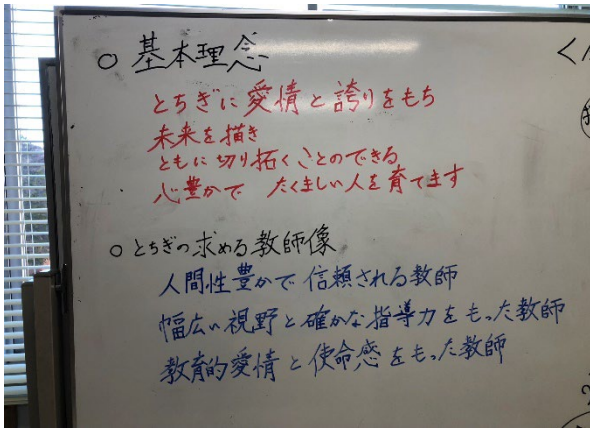
栃木県の小学校の教員採用試験を大まかに分けると、教員として必要な知識を問う一次試験と、人間性を見る小論文、面接や集団討論を行う二次試験があります。採用試験合格のため、両方の試験を突破することを考えると、幅広い力が必要となりますが、そうなりますと、試験に向けた勉強を避けては通れません。

みなさんがこれから受ける大学受験もそうですが、試験に合格するためには大きな壁を乗り越えていかなければなりません。試験の難しさという壁はもちろんのこと、試験の合否に自分の将来がかかっているとの思いから、プレッシャーという壁も高くそびえたっているでしょう。そのような大きな壁に一人で立ち向かうことは簡単なことではありません。

教員採用試験を受けるときに私がおすすめするのは、仲間を見つけて一緒に対策をすることです。その仲間ですが、私の場合は同じ社会分野の学生たちでした。お互いに小論文を読んで講評しあったり、本番と同様の形態（面接官役4人、受験者役1人）で面接の練習をしたりしました。皆がそれぞれ違う考えを持っているからこそ、他者の良い意見を自分にも取り入れることができたり、仲間たちの意見を合体させてよりよい考えが生まれたりということもありました。時には話し合いが盛り上がりすぎて、採用試験とは別の方向に話が向かってしまうこともありました。勉強に疲れた頭をリフレッシュすることができますので、それはそれでよいことだと思います。

ここまで仲間との協働の大切さを書いてきましたが、仲間を作るといっても、仲間を作るのが苦手だから不安だと思う方もいるかもしれません。ですが、心配はご無用です。当学部では1～2年生のうちにはクラス単位で必修の授業を受けることが多く、さらに3～4年生では主に分野別に授業を受けることになります。ここでは同じクラスや分野の学生と協力する時間も多く確保されています。なかには教育学部らしく、共に授業づくりに取り組む活動もあります。このように、日常の授業で継続的に顔を合わせる人も多くいるので、きっと教員採用試験を受けるころには頼れる仲間がで

きています。みなさんが大学でよい仲間を作り、ともに壁を乗り越えることを祈っています！



分野のみんなで教採の勉強をしていた部屋のホワイトボード。この時は、「栃木県教育振興基本計画」の基本理念と「とちぎの求める教師像」を書いてあります。このような重要事項をみんなで楽しく憶えていくことで、憶えなければという苦の面も和らいだと感じます。

分野を越えた仲間たちと取り組んだ学び

国語分野4年，栃木翔南高等学校出身（栃木）

＜小学校教員に合格＞

3年生の11月に教育実習を終え、本格的に教員採用試験の勉強を始めてから、二次試験当日を迎えるまでの約10ヶ月間は驚くほどにあっという間で、それくらい充実した日々を過ごせていたのだと思います。一人ではきっと苦しいだけであつたらう試験勉強が、こんなにも私の大切な思い出になったのは、間違いなく「仲間」の存在があつたからです。

勉強を始めてすぐは、別の試験対策に励んでいた同じ分野の友人たちと図書館や分野の教室で一緒に勉強をすることで毎日まとまった勉強時間を確保するようにしていました。集中する時はお互い真剣に参考書と向き合い、休憩時にはくだらない話をして笑い合う、長期戦だからこそ、メリハリをつけて楽しく学習を進めることができよかつたと思っています。

3月からは、教育実習の時に仲良くなつた別の分野の友達の紹介で、教育心理分野の先生の主催する学習会に参加することになりました。そこでは、小学校教員になるという同じ目標をもつた仲間たちと一緒に、週に3日ほど集まって過去問や問題集を解きました。みんなで同じ問題を解き、答えを確認することで、分からないところを友達同士で教え合つたり、先生に解

説してもらつたりすることができ、苦手な科目も克服することができました。二次試験前には、面接や小論文の対策として練習の様子を動画に撮つてアドバイスし合つたり、書いた小論文を読み合つたりするなど、お互いがお互いを高め合いながら、対策を進めることができました。不覚にも体調を崩した時期もありましたが、つらいときに励まし合い、支え合い、うまくいったときに喜び合える仲間がいることに何度も救われました。

私は基本的に大学で勉強することが多く、就職支援室の先生方主催の面接練習や集団討論練習にも参加するようにしていたので、みんなが頑張っている姿を目にする機会が多かつたと思います。仲間の努力する姿は自分を奮い立たせてくれ、最後まで頑張り続ける力になりました。また、担任の先生やゼミの先生など周りの人たちにもたくさん支えてもらいました。

今こうして振り返ってみると、やはり私の教員採用試験合格には「仲間」の存在が不可欠であつたと思います。これを読んだ皆さんが宇都宮大学で素敵な仲間と出会い、将来の夢を実現できることを願っています。



3月中旬の学習会スタートから8月中旬の終了までのWEB上の学習会履歴(上)。様々なコンテンツで復習に役立てました。学習会の合間には楽しいお茶会も(下)。この写真は差し入れのさくらんぼですが、いつもは買つてきたスイーツから好きなものを選ぶ楽しく真剣なスイーツじゃんけんが開催されました。

令和7年度入試から選抜方式を一部変更します

共同教育学部では推薦入試に関して、現在でも学校推薦型選抜ⅠAならびにⅠBという複数形式で実施しています。栃木県内は言うまでもなく全国にいる学校教員を強く志望する高校生に宇都宮大学共同教育学部で学んでいただきたく、令和7年度より（高校での教育課程が新しくなった学年に対応しています）推薦入試の方法を変更いたします。すでに発表になっている情報を下にまとめますが、今後も様々に情報が公表されます。大学や学部のホームページを定期的にご確認願います。

令和7年度入試〔現在の高校2年生が大学受験する年度〕から、共同教育学部の推薦入試は以下のようになります。

- ・「**一般推薦(A)**」を廃止します。
- ・「**一般推薦(B)**」については、**推薦区分の名称を『一般推薦』と改めます**。出願要件及び選抜方法に変更はありません。

すべての分野において新たに『**総合型選抜A(一般)**』を実施します。

【総合型選抜A(一般)の選抜方法】

子どもの発達と教育への関心、教職に携わる意欲、それぞれの学校種・教科の教育方法を学ぶために必要な基礎的知識、論理的思考力、表現力、主体性等を評価します。出願書類及び各分野で課す選抜方法を総合して選抜を実施します（各分野での選抜方法は下の公表情報等を参照）。なお、いずれの分野も大学入学共通テストを課しません。

※一般入試(前期日程)は変更ありません。

●より詳しい情報は、以下をご覧ください。

<大学ホームページでの公表情報>

https://www.utsunomiya-u.ac.jp/docs/R7yokoku20230929_suppl20231006.pdf

<動画での説明;5分47秒以降が令和7年度以降の説明>

<https://www.youtube.com/watch?v=cOWFeGj1DaI>



●受験生への様々な情報は、以下をご覧ください。

<大学ホームページの受験生応援サイト>

<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/>



学校教員を望み、それに向けて粘り強く学ぶ方々に受験してもらいたいと強く願っています。そのような気持ちが根底にあることで、高校でしっかり学んでいる力を共同教育学部での講義受講や実習などの学びに十分活かせます。

共同教育学部のこれからの令和6年度入試日程

★一般選抜 前期日程

(共同教育学部では令和6年度は後期日程入試を実施していません)

【試験日】 2024年2月25日(日)

【出願期間】 2024年1月22日(月)

~2024年2月2日(金)

※詳細については7月に公表された令和6年度入学者選抜要項, 10月に公表された令和6年度一般選抜学生募集要項でご確認ください。

入試についての情報は, 大学から出る「入学者選抜要項」「募集要項」に全て載っています。漏れが無いようによく読んでください。



←宇都宮大学のホームページ内の「一般選抜直前特設サイト」。オンライン相談会も開催されます。

<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/udaiadm2024.html>

編集後記

メッセージ集の企画をおこなったときに, 高校生だけでなく保護者の方の中にもお読みいただいている雰囲気を感じることがあります。高校に送っている紙媒体は手に入れるのが難しい場合が多いかもしれませんので, ぜひ学部ホームページにアップされたのをご覧いただければと思っています。

保護者の方からすると, どうすればわが子が合格できるかに特に関心が高いと思います。ただ, こればかりは「こうすれば絶対」というものはないため, 日々の高校等での学習を大切に, 受験への準備を積み重ねて, 可能性を高めてもらいたいと願っています。

同時に理解していただきたいのは, 教員養成系の教育学部は, 「点数」や「俗に言う偏差値」といった指標での合格可能性の面だけでなく, 入学後に免許取得のための幅広い授業を受けたり, 重層的に展開される実習に参加したりという, カリキュラムを受け入れた学びができるかという意識も大事だということです。そのような学びが合わず, 学修が思わしくない状態を生

じさせる学生に教員側が気を揉むことがあります。

「入れるかどうかということの一つ上」の検討を早めにおこない, その意識をしっかりと持っておくと, 充実した学びの維持につながると感じています。

宇都宮大学 共同教育学部 メッセージ集

「学校好き、集まれ!」 第6号

2024年1月9日 発行

発行者: 宇都宮大学 共同教育学部

[〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350]

編集責任: 川原 誠司(共同教育学部教員)

共同教育学部の
ホームページを
ぜひご覧ください。



<https://web.edu.utsunomiya-u.ac.jp>